

東西条地域センターだより

第29号

平成29年12月25日発行

東西条地域センター TEL&FAX 082-421-2023

一年の心の^{すす}煤を払はばや (正岡子規)

「煤掃き」と「煤払い」、この2語の読みと意味を記しなさい。あなたは、こんな国語問題が解けますか？

「すすはき」と「すすはらい」と読み、どちらも大掃除をしめすことばである、というのが正解である。現代の日本家屋にはすすの発生源がなくなり、「煤」という文字が読めないばかりか、すすを知らない若者がおおくなった。ガスや電気が普及する以前は、照明には行灯やろうソク、石油ランプをもちい、台所のかまどや囲炉裏では薪を燃やしたが、伝統的な日本家屋には煙突はなく、屋根に小さな煙出しが設けられただけである。天井や梁には黒いすすがこびりつくのであった。

そこで年末には家中のすすやホコリをはらう大掃除をして、汚れのない清らかな屋内空間で新年を迎えることが望ましいとされた。平安時代の文書には、この年末の大掃除は「煤掃き」と記されているが、江戸時代になると「煤払い」ともいうようになった。旧暦12月13日は縁起のよい吉日とされているので、江戸城ではこの日を城内の大掃除をおこなう「御煤納の日(おすすおさむのひ)」と定めた。これが民間にも採用され、「正月事始めの日」とされた。門松を立てる、餅つきをするなどの正月の準備がこの日から始められるのである。門松の材料をとり山へ行く日とされていた地方もある。

正月は「年神様」が各家を訪ねるときである。年神は、もともとはあたらしい年の豊作をつかさどる農業神であるが、家を守護してくれる祖先の霊と習合して祭られるようになった。正月の門松は年神様の依り代であり、門松を目印に年神様が各家を訪ねてくる。そして屋内に設けられた年神棚とか恵方棚という神棚に宿り、そこには鏡餅が供えられた。

こうしてみると暮れの煤払いは、たんなる大掃除ではなく1年の厄をはらい、あたらしい年を「予祝」する年中行事でもある。大正時代まで12月13日に家の大掃除をする家庭がおおかったが、その後、神棚と仏壇だけを清め、家の内外の大掃除は年末ぎりぎりになっておこなう家庭が増えた。(中略)

大掃除は住居空間を清めるだけでなく、その作業に従事した人の精神が清らかになったような気分にしてくれる。それを描写したのが表題の正岡子規の句である。

(H29.12.9 中国新聞「12月の随想・大掃除」石毛直道氏著より)

《 市民一人、1講座・1スポーツ・1ボランティア 》の奨励

東広島市の教育振興基本計画では、「生涯にわたる能力開発と学びによる豊かなまちづくりの実現」を生涯学習・社会教育施策の基本目標として掲げ、東広島市全体が市民の学びを支えるキャンパスとなり、市民一人一人の自己実現につながる様々な能力開発や自分探しを応援していくこと、また学んだことを生かすことのできる環境をつくることで、東広島市にふさわしい豊かな地域社会の実現を目指しています。《具体的には地域センターでは》、市の施策・学習活動の推進として①生涯の各時期にわたる学習機会の拡充 ②青少年の体験活動の充実 ③家庭教育支援の充実 ④地域課題等の課題解決に向けた学習機会の充実等 を目指して平成 30 年度も当センター独自の主催講座を計画してまいります。

この機会に講座参加してみませんか！

主催講座・自主活動講座がたくさんあります。

《 1年間の思いでフォトアルバム 》



お正月の玄関・門松



吉士実公園の清掃



センター玄関の紫陽花



屋上の防水工事 (7.8月)



市民スポーツ大会・6月陸上の部



8月球技の部



吉士実ぼんおどり



敬老会の様子



東西条まつり・作品展示



生涯学習フェスティバル・くらら



主催講座・知っ得健康生活(仮装)



主催講座・ワクワク盆踊り

《 今年もありがとうございました！！ 》

あっという間に過ぎた一年だったですね。様々な主催講座、色々な趣味の自主活動講座、スポーツや文化活動を和気あいあいとお楽しみいただきありがとうございました。また12月の館内大掃除にはご協力を頂き厚く御礼を申し上げます。みなさまと一緒に、気持ちよく新年を迎えられることを嬉しく思います。来たる2018年・戌年もまた「社会教育、学習の場・交流を深める場」としてセンターに来て頂き、楽しく過ごして頂ける存在感ある地域の拠点として、地域のニーズに応えるように取り組んでまいります。どうぞ皆様のご要望・ご意見を職員にお伝え下さいます様お願い致します。それでは、すがすがしい気持ちで新しい年をお迎え下さいませ。(センター職員一同)